【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【公開番号】特開2024-70926(P2024-70926A)
【公開日】令和6年5月24日(2024.5.24)
【年通号数】公開公報(特許)2024-095
【出願番号】特願2022-181555(P2022-181555)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｇ　3/22(2006.01)
Ｈ０１Ｂ 17/58(2006.01)
Ｆ１６Ｌ　5/02(2006.01)
Ｂ６０Ｒ 16/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｇ　3/22
Ｈ０１Ｂ 17/58　　Ｄ
Ｆ１６Ｌ　5/02　　Ａ
Ｂ６０Ｒ 16/02　６２２

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月27日(2024.9.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
合成樹脂材料から成り、一方の空間から他方の空間へと挿通対象物の貫通孔を通して渡す導電性の配索材を内方で挿通させるベース部材と、
前記ベース部材に組み付けて、前記挿通対象物の前記貫通孔の周縁部への取付完了位置で前記一方の空間に配置される環状のグロメット本体と、
を備え、
前記ベース部材は、前記取付完了位置で前記一方の空間に配置され、環状の前記周縁部における前記一方の空間側の環状平面に対して同軸上で隙間を空けて対向配置させる環状のフランジと、前記フランジから同軸上で前記他方の空間に向けて突出させ且つ前記取付完了位置で前記貫通孔に挿通させる筒状体と、を有すると共に、前記取付完了位置での前記他方の空間で前記筒状体の外周面よりも突出させ、かつ、前記取付完了位置での前記他方の空間で前記周縁部に前記他方の空間側から接触させる係止部を前記筒状体の周方向に複数有し、
前記グロメット本体は、前記ベース部材よりも軟質の弾性変形可能な合成樹脂材料から成る環状の止水部材を備え、
前記止水部材は、前記フランジにおける前記周縁部側の環状の壁面に同軸上で当接させる環状の本体と、前記本体から同軸上で前記周縁部に近づくほど前記貫通孔の孔軸から引き離すよう前記周縁部に向けて突出させ、前記取付完了位置で撓み変形して一周に亘って前記周縁部の前記環状平面に密着させる環状の外周リップと、前記本体における前記外周リップよりも内周縁部側から同軸上で前記周縁部に近づくほど前記貫通孔の前記孔軸に近づくよう前記周縁部に向けて突出させ、前記取付完了位置で撓み変形して一周に亘って前記周縁部の前記環状平面側に密着させる環状の内周リップと、を有し、
前記内周リップは、その先端側に、撓み変形可能で、かつ、前記取付完了位置で撓み変

形して径方向で外側の壁面を前記周縁部の前記環状平面側に密着させる薄肉部を有することを特徴としたグロメット。

【請求項２】

前記薄肉部は、径方向で外側の前記壁面を前記周縁部の前記環状平面に一周に亘って密着させることを特徴とした請求項１に記載のグロメット。

【請求項３】

前記周縁部は、前記環状平面が設けられた環状平板部と、前記環状平板部の内周縁の端部から前記他方の空間に向けて突出させ、その突出させた先の先端で前記係止部を係止する環状突起部と、を有することを特徴とした請求項１に記載のグロメット。

【請求項４】

前記周縁部には、前記環状平板部と前記環状突起部との間に、曲げの外側が弧状面となるように折り曲げられた屈曲部が形成され、

前記薄肉部は、径方向で外側の前記壁面を前記周縁部の前記屈曲部の前記弧状面に一周に亘って密着させることを特徴とした請求項３に記載のグロメット。

【請求項５】

前記グロメット本体は、前記止水部材よりも硬質の合成樹脂材料から成り、前記止水部材と一体になった環状の支持部材を備え、

前記支持部材は、前記本体における前記フランジの前記壁面との環状の当接面に対して同軸上で隙間を空けて対向配置させる環状部を有し、

前記ベース部材は、前記フランジの外周縁部を前記本体の前記当接面と前記環状部との間の環状の前記隙間に嵌入させることを特徴とした請求項１，２，３又は４に記載のグロメット。